

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	生活科学センター
指定管理者	アクティオ株式会社
評価対象年度	平成30年度
施設所管課	消費生活支援センター

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の安心・安全、 平等利用の確保	安全性の確保	A	日常の設備監視を適切に行い、必要に応じて速やかに修繕を行っている。また、危機管理マニュアルを備え、緊急時の役割分担を明確にし、館長を中心とした連絡体制が確保されている。さらに、研修において防災訓練や緊急時対応の確認を行っている。
	法令等の遵守	A	生活科学センター条例・規則を始めとした関係法令等を遵守している。
	平等利用の確保	A	条例に定める利用日及び利用時間は厳守されている。貸室の利用許可は基準に従い、適切になされている。
	個人情報の保護	A	情報公開及び個人情報の規程を整備し、個人情報保護研修を実施している。個人情報は、鍵付きキャビネットで管理するなど適正に管理されており、個人情報の流出はない。
施設の設置目的の達成	事業の実施	A	事業計画書どおり事業を実施している。主催事業の実施においては、施設の設置目的に沿ったテーマで効果的な実施を図っている。
	利用状況	A	来館者数、貸室利用率共に目標を達成した。広報ではアクションプランを作成し、積極的かつ効果的な広報を行った。
	適切な管理の履行	A	事業計画書の職員体制と実際の配置に相違はなく、日常の案内・解説業務も適切に遂行している。
	財産の適切な管理	A	設備の修繕は適切になされている。また県有財産についても管理台帳を備え適切に管理している。
利用者サービスの向上	サービス内容の向上	A	新たな指定管理期間に入ったことから、職員が初心に立ち返るためのリセット研修等を実施している。また日常のミーティングの中で情報共有し、業務改善している。自主事業の満足度は高く、利用者ニーズに合った事業を実施している。
	利用者の満足度	A	年2回実施したアンケートの利用者満足度(総合)は平均が90.9%と好評である。
適切な経理処理	指定管理業務の収支	A	利用料金を適切に徴収している。また、会計処理は、他の事業から区分して適切に経理されている。
	自主事業の収支	A	収支の差異はマイナスとなったが、利用料金収入は、103.7%と目標を達成しており、支出に関しても限られた予算の中で充実した事業を実施するために適正な経費支出をしている。
総合評価		A	利用者の安全確保に注力するとともに、日頃の管理運営も良好である。また施設の設置目的に沿ったテーマで様々なイベントを開催し、魅力ある施設の運営を図った。

特記事項	特に評価すべき点	消費生活の学習支援・情報提供の拠点であるという施設の特性を活かした魅力ある事業を職員一丸となって実施し、ホスピタリティあふれる接遇で利用者サービスの向上を図り、効率的な施設運営を行った。
	次年度に向けて改善が望まれる点	前年度導入した新たな展示施設等を活用し、施設のさらなる能力向上に努められたい。